

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ホアロハ・ディスカバリーラボ イースト				公表日	令和8年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・PCは7台だが、PCを使っていない他の子どもは、運動や勉強、ドローンの操作等をやっている、うまく回っていると思う。	・提供出来る幅広いカリキュラムの研究を行い支援に活かして行く。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・基準人員にプラスして複数のパート職員を配置する様にしている。	・曜日によって、人員が足りないと感じる徳が有る。・職員の負担が重い時が有る。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・トイレに手すりや設置されているのは良いと思う。	・古い一軒家の為、バリアフリーに関しては完全では無いと思う。・足に障害が有る利用者がいるので、玄関の段差を無くしたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・体を動かす部屋が別に有るのが良い。・ゲームをしない子供や塗り絵等をする子供が落ち着いて作業出来るスペースが有る点が良い。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・一部屋運動にも使用されている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・一人一人子供に合った目標はたてられている。	・終業後の振り返りの時間を取れる様に時間配分の見直しを行う。・パート職員との振り返りを確実にを行う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		・保護者からのメッセージや問い合わせ、意見や要望には適切に対応しているが、保護者の意向等を把握する機会は設けられていない。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・改善かどうかはさておき、意見や考え方等相談しやすい職場だと感じている。・定期的にミーティングの時間を設けている。	・パートを含めた会議を定期的に設定する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		・第三者委員会は設置されていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	4	・新年度から計画的に研修のプログラムを組んでいる。	・4月から研修を開始する事になっており、研修担当の外部機関と調整を進めている。。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ホームページ上に公表しているが、適宜改良して行く。	・子供の特性、保護者の要望に沿ったプログラムが作成されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・個々の子どもの得手、不得手を理解して何をさせるか、何を避けるべきかを良く考えるべきだと思う。それを理解した上で、活動を幅広く進められていると感じる。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			・共通理解を深めて行く為のミーティングを定期的に開催して行く。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			・情報共有が確実に行われる為に、システムを構築する。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・出勤時に必ず業務日報等で、子供の様子、自分が出勤していない日に子供に何が有ったか、どういう活動をしたかを確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・支援プログラムに関しては職員内で鋭意検討を進めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・基本的に一人で活動している子供が多いが、たまに体育館を借りて体を動かしたり、他者と関わる活動をしている点が良い。・ゲームをしていても他の子供との関わり合いが増えて来ている様子。	・利用している児童のニーズが多岐にわたる為、お子様にあわせて支援の組み合わせを積極的に行って行く。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・曜日ごとの利用状況等の情報が書かれているホワイトボードはとても便利。	・重要事項の伝達と当日の流れを共有するミーティングを行って行く。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・児童の気になった様子や行動は、必ず他の職員に相談する事になっている。	・終業後は時間が無いので、相談等を翌日必ず行う様にする。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・ノートに日々記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	・子供が何をしたいか、興味が有る事等はかなり聞いて感じている。・数多くある選択肢の中から、自分がした事の意味をくみ取れる様な関わり方をしていると思う。・子供個人の選択は尊重されている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			・送迎時に学校との連絡調整の必要な書類等を受け取る時に、担当教師と密なコミュニケーションを取る様にして行く。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		
関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2		・利用児童の年齢層の関係で事例は現在の所無いが、事例が出た場合には積極的に対応して行く。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・個人では参加していない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	・適宜情報提供をしている。	・事業所主催の研修会等は行っていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・運営規定、支援プログラムについてはホームページ上に記載し、保護者に閲覧して頂く様勧める。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・家族や子供の意向を十分に理解し、それに沿ったサービスを提供している。	・今後、子どもや家族に意向を確認する機会を定期的に設ける様に調整を行う。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	1		
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	・保護者会は設けていない。	・保護者からの要望が少なく、主催での家族会等は行っていない。外部の機会については、掲示等で情報を提供している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・行事が無いため機会が無い。	・事業所の規模や業務負担から今後も予定はしていない。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・マニュアルは完備しているが、開業後日が浅いため訓練は実施していない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			・予防接種は把握していない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				